

第27回 さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会 会議録

- 1 日時 平成24年2月10日（金） 午後7時～午後8時20分
- 2 場所 サークル室（文京シビックセンター12階）
- 3 出席者 専門委員会委員 安達修一委員長、薄田康広委員長職務代理、平野敏夫委員、森蘭子委員、清水朋子委員、西田隆重委員、黒田健夫委員、長松康子委員
専門委員会幹事 佐藤男女協働子育て支援部長、宮本保健衛生部長、高橋施設管理部長
区職員 辻保育課長、石原保健衛生部参事予防対策課長事務取扱、海老澤環境政策課長、鶴沼施設管理課長、太田保育係長、大澤主事、小平主事

4 配付資料

- 資料第5号「心理相談・健康リスク相談の開催状況等について」
資料第6号「文京区立さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会委員名簿（案）」
資料第7号「アスベスト文献購入予定リスト（案）」
資料第8号「今後の予定について」

5 会議進行

(1) 心理相談・健康リスク相談の開催状況等について（報告）

保育課長 （資料第5号参照）心理相談・健康リスク相談については、前回報告のとおりである。このあと、3月3日に、平成23年度の2回目の心理相談・健康リスク相談を予定しており、健康リスク相談は安達委員長、心理相談は清水委員にお願いしている。健康手帳の配布状況と協定の締結状況は、前回から変更はない。

委員長 相談の申込みの状況は？

保育課長 現在、1件の申込みが、心理相談・健康リスク相談ともにあるので、開催は間違いない。詳細は、申込み締切後に、ご連絡する。

委員長 震災で被災地のアスベストばく露などが話題になっているので、心配されて相談したいという方が出てくるかもしれない。結構インターバルがあるので、多少（申込みが）少なくなっても、続けていくことに変更はないと思う。

(2) 来年度委員の改選について

保育課長 （資料第6号参照）薄田先生の後任として、文京区医師会から、本郷内科クリニックの山崎先生をご推薦いただいている。山崎先生は、この委員会は初めてである。樋野先生の後任として、公立学校共済組合関東中央病院臨床検査・病理科部長の岡先生のご推薦をいただいている。岡先生も、この委員会は初めてだが、中央環境審議会の石綿健康被害判定部会の委員をされているので、お忙しいのではないかとと思われる。日程調整には、注意したい。塩見先生の後任として、ひらの亀戸ひまわり診療所の名取先生のご推薦をいただいている。名取先生は、平成21年度まで、この委員会の委員をされていた。森先生の後任として、小石川医師会から、くろだ医院の黒田先生をご推薦いただいている。黒田先生は、この委員会は初めてである。保護者代表の委員としては、黒田委員の後任として、飯田様をご推薦いただいている。飯田様も、この委員会は初めてで、事故当時3歳児クラスのお子さんの保護者である。長松委員の後任として、今井様をご推薦いただいている。今井様は、平成21年度まで、この委員会の委員をされていた。

委員長 この委員会で承認されたということで、新たなメンバーで運営をしていきたい。

(3) アスベスト文献の購入について

保育課長 資料第7号をご用意した。1番の「アスベストー広がる被害」については、前回の専門委員会でご紹介のあったものである。2番から7番は、事務局の方で、最近出版されたものを中心にピックアップした。この委員会で、追加・削除等につい

て、ご審議いただき、決定したものを購入したい。

- 委員長 このリストについて、ご意見があれば？あるいは、追加等のご推薦があれば？
- 委員 前回の委員会でご紹介したように、神奈川県綾瀬市の小学校校舎の煙突解体工事に際して、アスベストを飛散させてしまう事故があったが、これに関連する資料が綾瀬市役所のホームページに掲載されている。文献ではないが、さしがやに類似の石綿飛散事故ということで、是非、資料のストックをお願いしたい。
- さしがやとは違い、屋外の飛散事故だったので、シミュレーション実験をやって将来のリスク評価をやるのは、なかなか難しいということで、市は、学校関係者と近隣住民の名簿を永久保存して、何かあったときに活用するということまでに行っている。別のシミュレーションの方法もあるし、問題が全て解決したわけではないので、私としては、不満であるが、1つの事例として資料を図書の中に入れていただきたい。
- 委員長 出版物に関しては、販売されているので、保存について問題ないが、ホームページなどについて、図書館側としての扱いはどうなのか？
- 保育課長 冊子のような形になっていれば、取り寄せることが考えられる。ホームページということであれば、リンクが貼れるかどうか？
- 委員長 あるいは、このような事例は蓄積されていくと思うので、資料集としてバインダーなどにとじ込んでいく保存の仕方はどうか？出版物でないものについては、目についたものでよいが、ペーパーベースで保存する方法を図書館側と協議していただきたい。
- 保育課長 わかりました。バインダーとかスクラップのような形で、収集する方法について、事務局で検討させてください。
- 委員 もう1冊お願いします。日本衛生学雑誌の最新号に、奈良県立医大の車谷先生が、これまで、日本において、世界も含めた中で、アスベストがどのように健康に影響を及ぼしたのかを、まとめられた論文が、優秀論文に選ばれて巻頭に掲載されている。それが、割とわかりやすく公衆衛生学的に書かれているので、1冊入れてほしい。
- 委員長 それは、購入できるのか？
- 委員 京大に言えば、購入できると思う。
- 保育課長 後で、教えてください。
- 委員長 今回のリストには、社会的な内容の本はあるが、医学的な内容の本はない。ホームページ等で、予防だとか紹介されているものがあれば、参考になると思う。事務局への情報提供は、期限を区切らなくてもよいのか？
- 保育課長 期限はない。毎年、予算は取っているので、今年度間に合わなければ、来年度購入できる。

(4) 早期診断指標について

- 委員長 紙の資料はないが、今回ご欠席の樋野先生からお預かりしたプレゼンテーションをご紹介します。順天堂大学の「アスベスト・中皮腫外来」では、血清を使ったERCというマーカーを中皮腫の早期診断のために使っている。この委員会として、高校入学時の胸部X線写真の読影を実施しているが、その後の健診については、まだ決まっていない。いいものがあれば取り入れていくのも委員会の責務なので、ご紹介する。

それを踏まえて、委員から活発な意見が寄せられた。引き続き、検討することにした。

(5) 今後の予定について

- 保育課長 (資料第8号参照) 3月3日の午後1時から、健康リスク相談・心理相談を開催する。その後、24年度に入るが、5月頃に新しい委員さんが揃った第1回専門委員会の開催を予定している。来年度の読影のスケジュールが、それを待って

からでは遅いので、専門委員会に先だて、4月の中旬に、説明会開催の通知をして、5月の中旬に説明会を開催する。それ以降は、例年通り8月に読影会、9月に相談会、10月に専門委員会というスケジュールを予定している。

委員長
事務局

交替される委員の方々とのコンタクトは、どうか？

今日の委員会で、新しい委員の方々が承認されたということで、今後、資料を送るなど連絡を取っていく。

(6) その他

保育課長
薄田委員

本年度これが最後なので、退任される委員の方々から、一言いただきたい。

4年間ありがとうございました。非常に学ばせて頂くことの多い、素晴らしい会だと思う。次期委員の山崎先生は、私より若干若いですが、医師会の仕事もされている。引き続き、よろしく願います。

森委員

大変勉強させていただいた。有意義な会議活動だったと思う。あまり力になれなかったと思うが。次期委員の黒田先生は、内科の先生である。対象の園児の年齢が上がっているのでも、読影なども内科の先生の方が適切かと思い、推薦した。私は、引き続きさしがや保育園の園医をさせていただくので、また何かあれば、お力になれると思う。

黒田委員

4年間ありがとうございました。非常に誠意ある対応をさせていただいた感じがある。委員の皆さんの話し合いを聞いて、勉強になったと思う。素人なので、ここにいて聞いているだけだったが、運営等で何か不具合があれば、立ち上がらなければいけない、という覚悟で来たが、幸い4年間そういうこともなかった。引き続きやっていただく委員の方、今後ともよろしく願います。また、素晴らしい人を推薦させていただいて、この委員会を続けていってほしい。私の後任は、飯田さんという方なので、よろしく願います。

長松委員

いつも言いたいことばかり、言わせていただいた。ここへ来ると、戦闘モードに入ってしまうので、十何年経っても相変わらずで、困ったものだと思う。先生方、ありがとうございました。隣にいてくれる黒田さんが温厚なので、私もどれだけ和んだかしれない。こんなに長く委員会をやっていただいて感謝している。私の後任は、人望厚い今井さんなので、うまくいくと思う。よろしく、願います。また、委員会の委員という形ではなく、できることは何でもさせていただく。

委員長
保育課長

皆さん、委員会からいつか離れられるが、これからも注視していただきたい。退任される委員の皆様、ありがとうございました。今後も、何かあれば、ご意見をいただきたい。引き続き委員をされる皆様、これからもよろしく願います。他になければ、本日は、これで終了する。